

東由利村報

No. 17 31-8-15

発行所 秋田県東由利村役場

印刷所 株式会社本間印刷所

農業の科学化

数字と親しもう

農業の科学化が叫ばれてからもう大分年月がたつていゝ。この科学化という言葉は大変いかめしく聞こえ、自動耕耘機を使うとか農村を電化する、ことだというように考えられがちである。むしろこれらも科学化の一つである。私が私達はもつと身近なものでもつとも大切なことを忘れておるのではないだろうか。例えば自分の家の苗代や本田の面積を正確につかんでおるに、子は子なりに悪循環をくり返す結果となるのである。農業科学化の第一歩はまずこれらの面積、すなわち基礎となる数字を正確に知ることである。すべての不合理は数字で計算できるものであるから私達は面倒くさいという先入感をすて、数字に親しむ数字を重用してゆかなければならない。

この数字に基いた農業自体が科学化されたことであり、そこから無限の発展もおのずから数字がはじきだしてくるものと考えるのである。

県農業改良課技師 佐々木 三郎

新議長に佐藤(与)氏

副議長に田代氏を選任

村議会議員改選後初の議会は七月三十一日午前十時役場に招集され、議長、副議長の選挙、村議会定例会条例の制定他一件が原案可決されました。

改選後の初議会

開会は午後一時、当日 無記名投票の結果

の出席議員二十名、村議長の挨拶があつてまず議員の新議長を決定、臨時議長に最年長議員の小松徳太郎氏を選任して議長選挙が行われました。無記名投票による選挙の結果は

佐藤 与吉郎	十六票	田代 寿治	十三票
小松 徳太郎	一票	島山 忠太郎	六票
無効	一票	無効	一票

で田代寿治氏が当選しました。議長副議長の選挙を終えてたゞちに議案の審議に入り、いずれも原案可決して午後二時三〇分閉会しました。今回の提出議案は次のとおり、なお常任委員、同委員長を選任は次回に行われます。

で新議長に佐藤与吉郎氏が当選して副議長の選挙が行われ、私は新村東由利村初の村議会議員改選後において、議員各位のご推薦により議長の重責につくことになりました。もとより浅学非才の者であり到底その器でないことは私自身よく心得ておるのであります。而し乍らこれは村民皆様のお

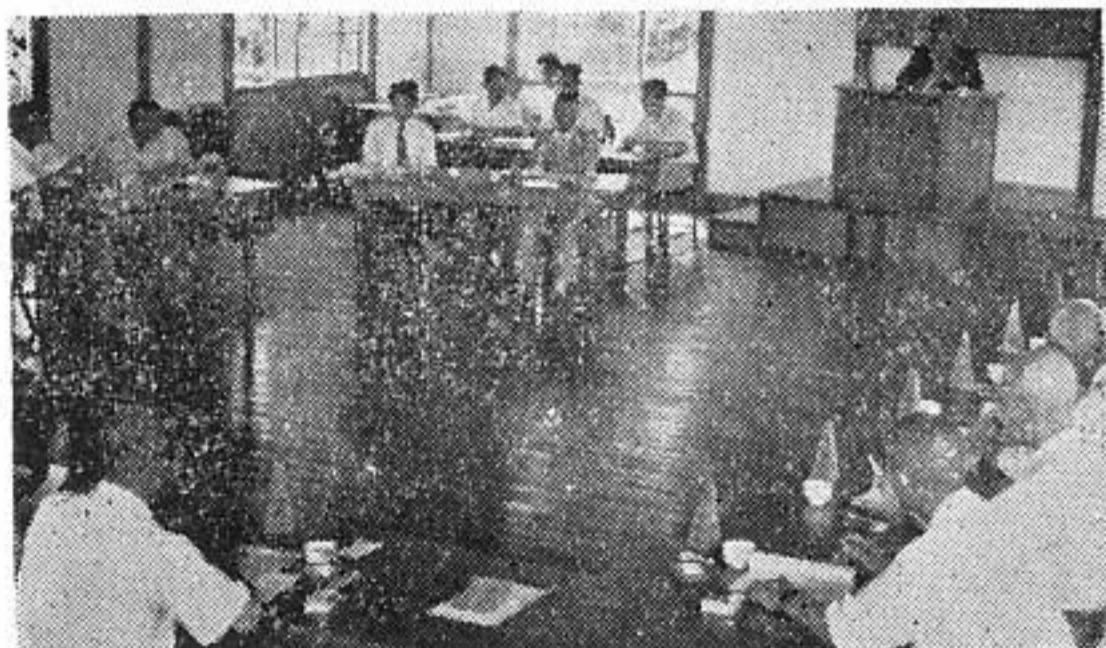


ごあいさつ

佐藤 与吉郎
身全霊を傾倒し、皆様の代表である議員各位のご意見を十二分にくみ公平無私し

も厳正で明朗な議会運営に努力いたしたいと考えてございます。宜しく各位のご援助と鞭撻の程を切にお願いする次第でございます。

(村議会議長)



(議会風景)

8月22日から馬の伝貧検査

夏は高温と蚊、はえなどの発生で家畜も伝染病に悩まされる時期です。わけても馬にとつて恐ろしい伝染性貧血は俗にいう「ブラリ病」の名のとおり肥えた馬が症馬であつたり、症馬が天寿を全うしたり素人には判別できないものです。今のところこ

△村議会常任委員会及び特別委員会条例の一部を改正する条例制定について(総務委員会委員六名以内、経済勸業同委員五名以内、土木同委員五名以内、教育民生同委員五名以内を置き、議員はそれ／＼一箇の常任委員会の委員となる。委員の任期は二年)

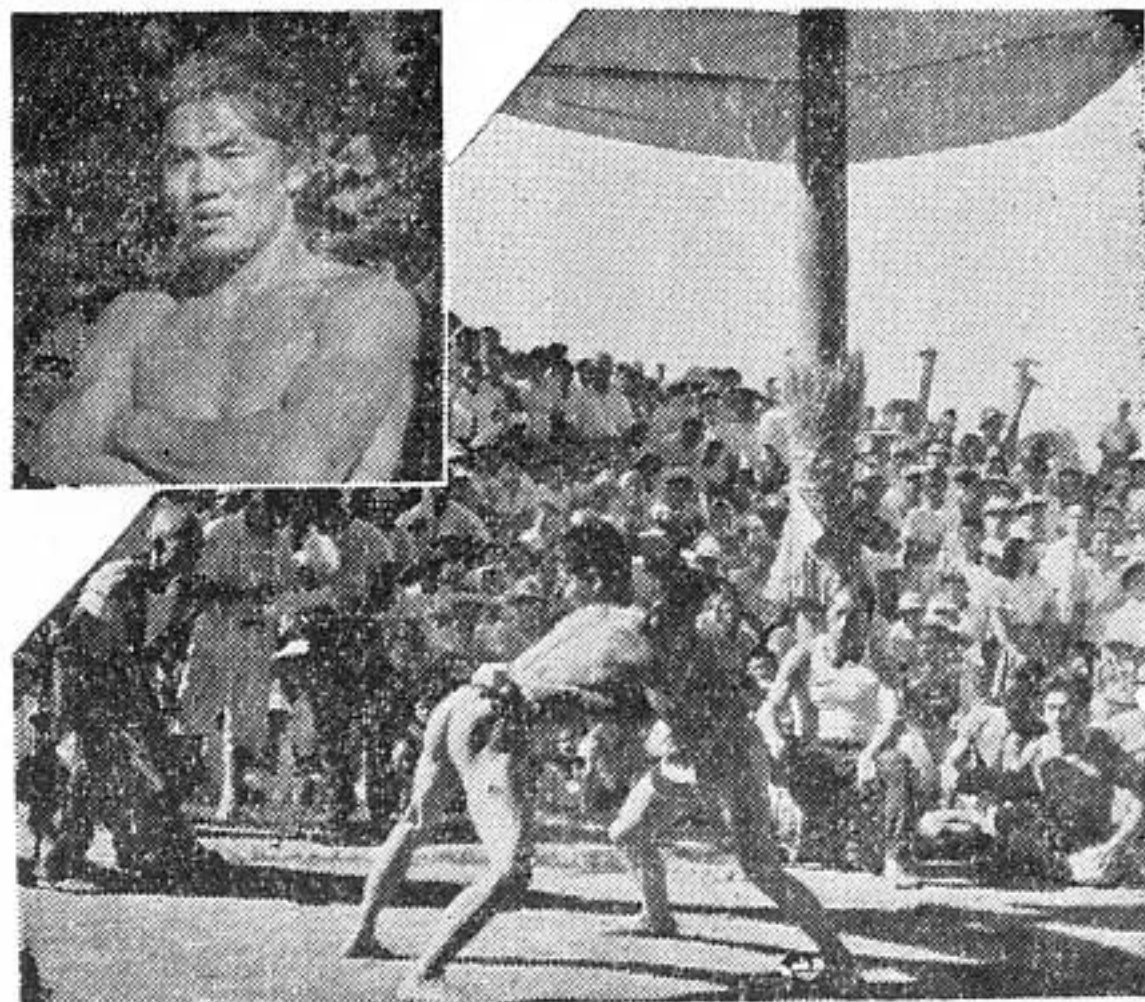
八月二十二日 法内小学校前
八月二十三日 宿
八月二十四日 蔵
八月二十五日 台山種付所
八月二十九日 袖山小学校前
八月三十日 住吉
八月三十一日 役場前

【勸業係】

お盆は旧で

立秋もすぎまもなくお盆ですが村公民館運営審議会ならびに村各機関関係者間で今年のお盆行事について協議され、農家の作業の関係で今年に限り旧歴で行うことに決定しました。他に新村建設にもとづく新生活運動の一つとして次の事項を強力に推進することを申し合はしました。

- ① 家庭のお盆は簡素に行う
- ② 回礼は全廃する
- ③ 初棚の接待は酒を用いず茶菓の程度、供物は線香、ローソク程度とする。



磯ノ花も出場して

賑わった地蔵尊奉納相撲大会

七月三十一日(旧六月二十四日)の館合地蔵尊奉納祭典では恒例の奉納相撲大会が催され、近郷近在の力自慢の若者五十余名、玉米中学校相撲部などが出場して土俵上に熱闘をくりひろげました。これには現在幕下上位で活躍を続け、将来を期待される郷土出身磯ノ花が特に招かれて出場し、場内を埋めつくした見物人の圧倒的な喝采を浴びました。

【写真は相撲大会風景、左上は磯ノ花】

発生面積 全耕地の二割

減収は一割の予想

葉いもち病総決算

本村で葉いもち病の初発生がみとめられたのは六月二十七日その後七月後半の梅雨明けから猛烈に発生蔓延して全耕地面積の三割三百六十七町歩、被害農家四百戸に及びました。

防除に本腰を入れたのは十五日から月末まで、防除器具百二十台を総出動して連日死にもぐりるの防除班の活躍と月末以降

こんなことを申すこと自体が笑止千万で恐縮だが、村報と新聞を並べたらどつちを先に手にするか?.....やつぱり新聞だろう。

苗代前期の低温でかなり成苗歩合は不良であつたが、致命傷となつた要因は六月末からの低温多雨で稲の成育は一層徒長軟弱になり蔓延に絶好な状態におかれたことです。また晩植、活着不良や窒素過多の水田が普通田より早期に発生し、品種別にみると農林系統が特に大きい罹病率を示しました。

防除面積 蔓延の最盛期と目された七月二十五日までの期間をはさみ、二百五十町

二十五日までの期間をはさみ、関係団体と農家が一体となつて

の天候回復によつてどうやら葉いもちは終息しましたが、この間の防除面積は二百五十四町歩使用農薬三千六百袋(一万八千キログラム)でした。

憂慮される 葉いもちによる減収量の測定は難かしいが、一割の減収とみられております

一応葉いもち病の発生は終息したが八月上、下旬の天候が悲観的で今後首いもちの多発が予想されており、状況いかんによつては更に決定的な被害をこうむるものと思われ、憂慮されております。

葉いもち地区別発生、防除面積

【勸業係】

(地区)	(発生)	(防除)
館合	七八、三	五二、二
田代	三五、一	二三、四
黒淵	三八、八	二五、二
老方	六八、二	五七、六
蔵	四二、五	二八、六
法内	三九、〇	二二、〇
宿	六五、二	四五、一

遺骨一柱還る

戦後音信がなく安否が気ずかわれていた佐藤光男氏(当時陸軍伍長)田代佐藤与一郎方)は、

で困ることは村報と新聞を同一視されることだ。

新聞は多角的で世の動きを早く知らせる一面、面白い読みものにして沢山売れるようにしている。早い話しが興味本位である。

村報(広報)は知らせなければならぬ義務のもとに、統平に対する服従でなく理解にもとづく協力をねらうものである。また正しい世論が生まれるような資料を提供しなければならぬ。

だからどちらかといえお説教くさくて堅苦しく、見栄えがしない結果になりやすい。

校歌募集

蔵小学校では次により校歌歌詩を募集しております。

▽ねらい 学校の伝統と地域の特性を知り、同校児童としての誇りと自覚をもてるもの

▽形式 平易簡明な口語調で、四行または六行で一節とし二節までとする。

▽出品 点数に制限なく、一点ごとに住所氏名を記入

▽メ切 九月十五日

▽入選発表 九月末日

昭和三十一年九月二十七日朝鮮克茂山病院で戦病死した死亡公報に接しました。遺骨伝達式は七月二十七日秋田市鱒勝院で行われ、翌二十八日部落民の出迎えをうけて無言の帰還をいたしました。

【厚生係】

23日職業相談 役場と支所

関東秋季労務、愛知、石川その他より工員など大量の求人申込を受けておるので、本荘公共職業安定所では今月の二十三日午前九時より役場、同日午後二時より下郷支所で職業相談を行うことになりました。就労希望の方はお出下さい。

【厚生係】

新聞みたいに面白い村報を「との声があつたが、村報の性格が損なわれたら大変なものになつてしまう。

窮屈でも読まれないものでも「村報だから読め」というのではない。読まなければならない村報としての効果が上らないことは百も承知、そのためになんとか研究と努力はかさねている。

「面白くない」「見られたもんじゃない」とキメつけられてばかりいると自分がカナシクなる。なんとか村報を理解していただくすがに、と思つてあえて一言した次第。



日常の生活に新聞は切り離せないものになつている。リヤレヤレ」と仕事を終えた瞬間もう新聞を手にして、勘定に入らない日課の一つだ。

巨万の資本と緻密な情報網から出来る新聞と、何万何千の予算と実質的には係一名の村報とで相撲を取ると考える方がどうかしているが、こゝ